

追手門学院大学創立 50 周年記念国際フォーラム

アジア諸国におけるオーストラリア研究の展開

追手門学院大学オーストラリア研究所長 有吉 宏之

2013 年、オーストラリア研究所はディヴッド・ウォーカー教授を基調演説者に迎えて〈アジアにおけるオーストラリア研究の展開〉という国際フォーラムを9月7日に開催した。これは、2012年の初めに韓国の延世大学のヒージン・リー・オーストラリア研究所長が追手門学院大学を来訪して、追手門学院大学のオーストラリア研究所の研究及び運営方法等について意見交換したこと、更には同年の夏にタイのタマサート大学のスパット・スパチャラチャイ・オーストラリア研究所長一行が来訪して研究所の所員と意見交換したことが国際フォーラムを開催するきっかけになった。

当研究所はわが国では独自にオーストラリア研究を46年間にわたり継続してきたが、最近の国際化の進行に伴い、アジア近隣諸国とオーストラリア研究について意見交換、交流を活発にする必要性を感じ始めていたところである。

国際フォーラムの冒頭でディヴッド・ウォーカー教授はオーストラリアが長年にわたりアジア系移民を受け入れてきたことがオーストラリアの社会に影響を与えたと述べ、アジアとオーストラリアの交流の歴史を検証することが必要であるとの考えを述べた。

ヒージン・リー・延世大学オーストラリア研究所長は、今後のアジア各国の研究機関の間の共同研究の必要性を強調した。

タイのスパット・スパチャラチャイ・タマサート大学オーストラリア研究所長より最近のタイとオーストラリアの経済関係の進捗によりタイ国内でもオーストラリア研究が進んでおり喜ばしいことであるとの意見表明があった。

マレーシアのジェームス・チン・モナシュ大学マレーシア校人文社会科学研究所長よりはマレーシアにおいては高等教育の交流は進んでいるが、オーストラリア研究に対する理解は余り進んでいないとの発言があった。

日本のオーストラリア研究学界を代表して永野隆行・日本オーストラリア学会副代表理事が日本のオーストラリア理解を促進するため、学会としても協力していきたいとの発言があった。

追手門学院大学オーストラリア研究所を代表して私よりは、46年の研究所の歴史を更にオーストラリア研究のために生かしていきたいと発言した。

今回のフォーラムはアジアにおけるオーストラリア研究のための最初の国際的フォーラムであったが、参加国代表よりは極めて好意的な反応を受け、タイのスパット・スパチャラチャイ研究所長は2014年にこの顔ぶれでタイが会議を開催して招待したいとの発言もあった。

International forum of
Prospects of Australia Studies in the Asian Countries
hosted by The Center for Australian Studies of
Otemon Gakuin University

Hiroyuki Ariyoshi

Director, The Center for Australian Studies, Otemon Gakuin University

The CAS (Center for Australian Studies) held the International Forum of “Prospects of Australia Studies in the Asian Countries” on 7th of September, 2013 by inviting Professor David Walker as key-note speaker.

This is catalysed by the visit and the exchanges of view of Pro. Heejin Lee, the director of the Centre for Australian Studies of Yonsei University of the Republic of Korea in the beginning of 2012 and the subsequent visit and the exchanges of views of Prof. Suphat Suphachalasai, the director of Australian Studies Centre of Thammasat University of Thailand in the middle of 2012.

The CAS of Otemon Gakuin University was founded in 1967 and has continued its own research activities of Australia since then.

As the international exchanges of the universities have been expanded, we came to think the necessity and need of interaction and exchanges of views among the countries in Asia about Australia studies.

In the inception of International forum, Prof. David Walker hinted the long-term inflow of Asian migrants into Australia has been affected to the society of Australia and is necessary to investigate further the history of the exchanges of Asia and Australia.

Prof. Heejin Lee of Yonsei University emphasized the need and necessity of joint research among the universities for Australia Studies in Asian countries.

Prof. Suphat Suphachalasai of Thammasat University mentioned that it is grateful that due to the expansion of economic relations between Thailand and Australia, the reseach activities on Australia

studies is also on progress.

Prof. James Chin of Malaysia Branch Campus of Monash University mentioned that the exchanges of higher education between Malaysia and Australia has been improved, however there is little understanding on Australia Studies in Malaysia.

Prof. Takayuki Nagano, Deputy President of Australian Studies Association of Japan stated in his speech that the society is trying to promote the understanding of Australia from now on.

Prof. Ariyoshi, the Director of the CAS of Otomon Gakuin University said that we try to use the experiences and expertises of the CAS of last 46 years to promote the understanding of Australia.

This Forum is the first international forum in Asia to exchange the views on Australia studies and generally speaking, this forum is well received by the participating countries and universities.

Prof. Suphat Suphachalasai hinted that Thailand welcomes the members of 2nd International forum in 2014.

追手門学院大学創立 50 周年記念 —2016 年に創立 50 周年を迎えます—




2013 年度 追手門学院大学オーストラリア研究所 国際フォーラム

アジア諸国における オーストラリア研究の展開

Prospects of Australia Studies in the Asian Countries

10:30-10:40 開会の挨拶

10:40-11:40 基調講演：
途切れた物語：オーストラリアのアジアとの繋がりに関する一考察
—1880 年代から現在まで—
デイヴィッド・ウォーカー Prof. David Walker (ディーキン大学、北京大学 BHP Billiton オーストラリア研究寄贈講座代表)

11:40-12:00 質疑応答

13:00-13:40 韓国におけるオーストラリア研究の現状とアジア諸国間の共同研究
ヒージン・リー Prof. Heejin Lee (韓国・延世大学オーストラリア研究所長)

13:40-14:20 タイとオーストラリアとの補完的経済関係
スパット・スバチャラチャイ Asst. Prof. Suphat Suphachalasri (タイ・タマサート大学オーストラリア研究所長)

14:40-15:20 マレーシアにおけるオーストラリア研究
ジェイムス・チン Prof. James Chin (マナシュ大学マレーシア校人文社会科学研究所長)

15:20-15:40 追手門学院大学オーストラリア研究所 46 年の歴史
有吉宏之 Prof. Hiroyuki Ariyoshi (追手門学院大学オーストラリア研究所長)

15:40-16:10 日本におけるオーストラリア研究とアジアにおける役割
—現状と将来的展望—
永野隆行 Prof. Takayuki Nagano (日本オーストラリア学会副代表理事、獨協大学)

16:30-17:10 総合討論

17:10-17:20 閉会の挨拶

2013年9月7日(土) 10:30-17:20

追手門学院大学 5 号館 5301 教室 (大阪府茨木市西安威 2-1-15)

参加費無料
同時通訳あり

JR 茨木駅西口「イオン茨木」横 (南へ徒歩 7 分)、阪急茨木市駅西口から追手門学院スクールバス (9:30 発、無料)、または JR 茨木駅前 3 番バス乗場から阪急バス (回) 系統 (9:45 発) をご利用下さい。
詳細は追手門学院大学ホームページ <http://www.otemon.ac.jp/> をご参照下さい。

【申し込み方法】
氏名・住所・所属・メールアドレスまたは電話番号をご記入の上、8 月 30 日 (金) までに E-mail または FAX にて下記までお申し込み下さい。

【問い合わせ・申し込み先】
追手門学院大学 オーストラリア研究所
〒567-8502 大阪府茨木市西安威 2-1-15 TEL: 072-641-9667 FAX: 072-643-9476
E-mail: cas@office.otemon.ac.jp ホームページ: <http://www.otemon.ac.jp/cas/>



[資料] 国際フォーラム案内ポスター・チラシ (表面)

追手門学院大学オーストラリア研究所 国際フォーラム

アジア諸国における オーストラリア研究の展開

オーストラリアとアジア諸国との間では、これまで貿易や投資を中心とした物的交流のみならず、移民・留学等の人的交流においても、長い歴史を積み重ねてきましたが、社会の関心の高まりに呼応してオーストラリア研究も年々さかんになってきました。

日本では 1967 年に追手門学院大学に「オーストラリア研究所」が設置され、1989 年には全国規模の「オーストラリア学会」が設立されました。1976 年に在日オーストラリア大使館内に設置された「豪日交流基金」(AJF) も、日本国内のオーストラリア研究に援助を続けてきました。

タイでは 1994 年にオーストラリア研究所が設立され、2012 年にはオーストラリアとの通商 60 周年を記念した国際シンポジウムが開催されました。また韓国では 2008 年に延世大学にオーストラリア研究所が開設されました。マレーシアでもオーストラリアとの研究交流がさかんです。

このたびの国際フォーラムは、アジア諸国におけるオーストラリア研究がどのように進展し、かつ将来的な展望を抱いているのかという課題をめぐって、オーストラリア・韓国・タイ・マレーシアおよび日本の最前線の研究者からのレビューを題材に議論を深めようとするものです。さまざまな分野の方が一人でも多く参加して下さることを願っています。

[資料] 国際フォーラム案内ポスター・チラシ (裏面)